

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた兵庫県の取組について(令和7年度)

1 学術調査

(1) 鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会

① 第14回委員会(令和7年8月1日開催)

令和6年度の学術調査結果及び令和7年度の学術調査実施概要について報告した。また国際シンポジウムの実施概要や環境省・文化庁への訪問結果の報告を行った。

② 第15回委員会(令和8年2月13日開催)

令和7年度の学術調査結果の中間報告をするとともに、令和8年度の学術調査委員会の取組方針について報告した。

(2) 国内調査

① 完新世海面変動に関する研究

約6～8千年前の縄文海進最盛期における相対的海水準を明らかにし、鳴門海峡周辺域における相対的海水準の上昇速度を算出して大規模な渦潮の発生時期をより高精度で推定することを目的として、完新世海面変動に関する調査研究を進めている。令和7年度は、令和5・6年度の人力ボーリング調査の結果に基づいて、鳴門市大島田地区において、機械式ボーリングコア調査を実施した。

※各種分析調査は令和8年度事業として計画



【採取したコア試料】

② 海峡の地形形成に関する調査及び分析

和泉層群の砂岩泥岩互層から構成される鳴門海峡、淡路島沿岸部の地形が、岩石強度の違いに制約された差別侵食により形成されていることを実証的・定量的に示す。波蝕に対する抵抗性の差異が影響している可能性を検証することを目的に、岩石の弾性波速度を測定し、未風化岩石の強度と乾湿風化を受けた岩石の強度を総合した「割れ目岩盤強度」を推定し、波状起伏の凹凸との関係を検討して両者の定量的関係を明らかにする。

【実施日】

1回目：令和8年1月20日、21日
2月上旬、中旬にも同様の調査を計画



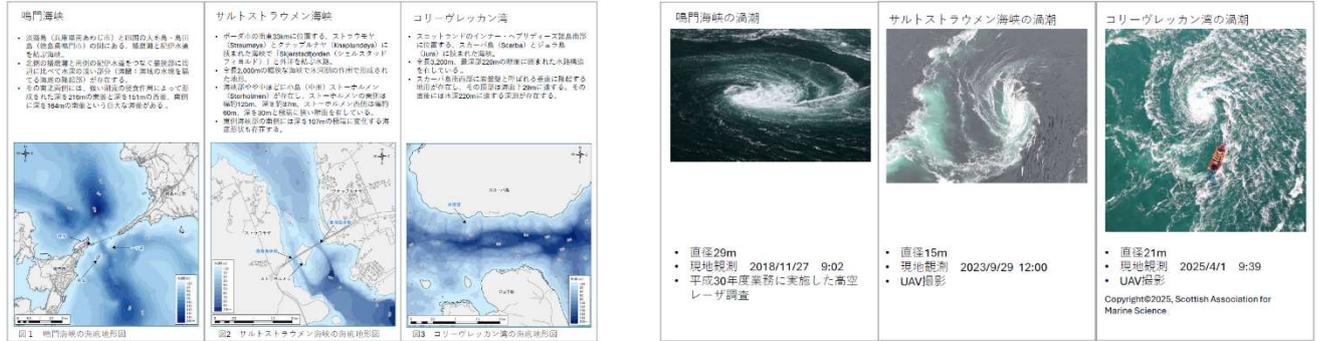
【弾性波測定装置】



【調査の様子】

(3) 海外類似資産調査

海外類似資産との比較に必要な情報（海外の「渦潮」の規模、発生メカニズム、地形条件など）を収集・整理し、「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けての基礎資料とするため、海外研究機関（ノルウェー・ノード大学、スコットランド・スコットランド海洋科学協会（SAMS））との共同調査研究に関する調整を行った。また国際シンポジウムでの海外研究者の招聘調整、サポートを行った。



【国際シンポジウムで展示したマトリクス表の一部】

(4) 世界遺産登録に向けた新たなアプローチの研究調査

「鳴門海峡の渦潮」の推薦をめざす際に必要となる、沿岸・海域における評価基準(vii)自然現象・自然美、(viii)地球の歴史・地形地質に基づいて登録された自然遺産・複合遺産について、文献研究および現地調査によって、「鳴門海峡の渦潮」への本基準の適用可能性を分析している。

2 2025「鳴門海峡の渦潮」国際シンポジウムの開催（兵庫・徳島合同）

鳴門海峡の渦潮に関するこれまでの研究成果を踏まえた普遍的価値や海外の渦潮の状況を各関係者から発表するとともにユネスコ関係者より海の世界遺産の保護や持続可能な利用に関する記念講演を行った。※報告2—IIにて別途報告

(1) 国際シンポジウム

- ①開催日：令和7年9月1日 13:00～16:40
- ②場所：ホテルニューアワジ プラザ淡路島 賀集の間
- ③参加人数：約190名



【会場の様子】

(2) 意見交換会

- ①実施日：令和7年9月1日 17:30～18:30
- ②場所：ホテルニューアワジ プラザ淡路島 吹上の間
- ③参加者：海外招聘者5名、学術調査委員、南あわじ市長、鳴門市長、兵庫県、徳島県、南あわじ市、鳴門市、兵庫県議会議員

(3) 現地視察

- ①実施日：令和7年9月1日、9月2日
- ②視察場所：うずしお科学館、道の駅うずしお、福永家住宅、千畳敷展望台、渦の道、うずしおクルーズ



【船上からの渦潮見学】

3 世界遺産登録に向けた調整（兵庫・徳島合同）

世界遺産登録に向け環境省・文化庁に訪問し、昨年度に取りまとめた今後の目指す方向性について報告するとともに、意見交換を行った。

(1) 日 時：令和7年5月28日（木）

(2) 場 所：環境省、文化庁

(3) 参加者：兵庫県淡路県民局長、兵庫県企画部次長、兵庫県地域振興課歴史資源活用専門官、兵庫県議会議員、兵庫県事務局（淡路県民局）、徳島県事務局（文化資源活課）等 計10名

4 普及啓発

(1) EXP02025 大阪関西万博での情報発信

大阪関西万博において、鳴門海峡の渦潮の世界遺産推進活動やこれまでの研究成果などを周知した。

①一般催事出展「はじまりの島、淡路」

日 時：令和7年5月25日（日）

場 所：ポップアップステージ南

主 催：淡路島万博催事実行委員会

内 容：ステージ間でのNPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会による取組のPR

来場者数：約3,000人



【うず博士による渦潮の紹介】

②ひょうご EXP0 リージョナルデー（洲本市×南あわじ市×淡路市の日）

日 時：令和7年5月23日（金）～5月25日（日）

場 所：関西パビリオン 兵庫県ゾーン

主 催：淡路島万博催事実行委員会

内 容：通路での渦潮PR動画及びポスター展示

来場者数：約8,400人（3日間計）



【共同PRブース】

③ひょうごフレンドシップウィーク（兵庫・徳島共催）

日 時：令和7年9月27日（金）～9月29日（月）

場 所：関西パビリオン 多目的エリア

内 容：共同PRブース出展、PR動画放映、渦潮の発生メカニズムパネル展示、うず潮模様のうちわ製作ワークショップ、うず潮クイズ

来場者数：18,525人（3日間計）



【製作したうず潮模様のうちわ】

(2) 渦潮ラッピングバスの運行

①大阪・神戸～淡路島間の高速バス

令和2年度から運行を開始した渦潮のラッピングバスを引き続き大阪・神戸～淡路島間で運行中。（1日約5便）



【ラッピングバスデザイン】

②神戸市バス

南あわじ市と神戸市との連携協定に基づき、南あわじ市の PR をラッピングした神戸市バス1台が令和6年度から引き続いて走行中。令和7年12月にはラッピングのデザインを更新した。



旧デザイン



令和7年12月からの新デザイン

(3) 普及啓発活動支援事業補助金制度

淡路島内及び鳴門市内に活動拠点を有する団体が、鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた普及啓発活動を行う事業に対し、必要な経費の一部を助成した。

【令和7年度助成事業】

(ア) 「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた普及啓発イベント

(1) 中田宏環境副大臣特別講演の開催

- ①助成対象者：NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会
- ②開催日：令和7年5月5日（月）
- ③場所：南あわじ市福良地区公民館
- ④参加者数：約150人
- ⑤内容：中田宏環境副大臣特別講演「自然環境を後世に引き継ぎ、うず潮を世界遺産に」を開催するとともに、講演終了後は副大臣と関係団体代表者による世界遺産登録に向けた対談を行った。



【中田環境副大臣の講演】

(2) 『大阪・関西万博 ロハスフェスタ EXP02025』への出展

- ①助成対象者：NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会
- ②開催日：令和7年6月2日（月）、3日（火）、4（水）
- ③場所：大阪・関西万博 会場内 EXP0 アリーナ「Matsuri」
- ④参加者数：約17,300人
- ⑤内容：「鳴門の渦潮」解説パネルの展示、鳴門市の写真家小川直樹氏の写真展示、うず博士の渦づくり体験等を行い、来訪客・報道機関に世界遺産登録について具体的な進捗を紹介した。

(イ) 環境シンポジウム

- ①助成対象者：鳴門海峡の渦潮あわじ島環境シンポジウム実行委員会
- ②開催日：令和7年8月31日（日）
- ③場所：洲本市文化体育館文化ホール しばえもん座
- ④参加者数：200人
- ⑤内容：淡路島内高校生による鳴門海峡の環境保全活動への取組等の発表が行われ、発表に対して2025「鳴門海峡の渦潮」国際シンポジウムにも登壇したモニカ・ルエンゴ氏から講評をいただいた。



【高校生による発表】

(ウ) 第7回3海峡クリーンアップ大作戦

- ①助成対象者：3海峡クリーンアップ大作戦実行委員会
- ②開催日：令和7年11月2日（日）、11月8日（土）
- ③場所：紀淡海峡（洲本市生石海岸）、鳴門海峡（南あわじ市伊弉海岸、阿万海岸、鳴門市千鳥ヶ浜海岸）、明石海峡（淡路市田ノ代海岸）
- ④参加者数：1,631人
- ⑤内容：「鳴門海峡の渦潮」の発生に重要な役割を担う3海峡の景観を守るため、海岸清掃活動を行った。



田ノ代会場の清掃開始前あいさつ



伊弉会場の清掃の様子



阿万会場の清掃後の集合写真

(エ) 「うず潮」の世界遺産登録に向けた次世代教育啓蒙活動

- ①助成対象者：世界遺産・渦の会、「うず潮」の世界遺産登録を目指す淡路島議員連盟
- ②開催日：年間を通じて
- ③場所：兵庫県内及び鳴門市内の公共施設、学校及び大型商業施設等
- ④参加者数：約200人（事業計画時）
- ⑤内容：主に次世代の子どもたちを対象に、渦潮出前講座、こども絵画コンクールやパネル展示等を実施

(オ) We Love UZU project —渦の鼓動を、次世代へ—

(1) 小学生への出前授業

- ①助成対象者：We Love UZU project
- ②開催日：令和8年2月
- ③場所：淡路島内の学童保育施設3か所程度
- ④参加者数：約100人（事業計画時）
- ⑤内容：高校生が講師役となり、渦潮について学ぶ出前授業を実施する。

(2) 体験型イベント「うずしおハイスクール～学ぼう、うずの旅～」

- ①助成対象者：We Love UZU project
- ②開催日：令和8年3月7日（土）
- ③場所：うずしおクルーズ発着場
- ④参加者数：約100人（事業計画時）
- ⑤内容：渦潮に関するワークショップや渦潮クルーズのガイドを高校生が行い、渦潮について学び、体験できる半日型イベントを実施する。

(4) その他PR活動・イベント等への出展

①PR活動・出展

日程	内容	参加人数	場所	実施団体
4月～ 9月	「世界遺産を目指す」懸垂幕の設置	-	淡路県民局駐車場	事務局
5/4	レトロな街歩き	5,000名	レトロこみち (洲本市内)	NPO 法人うず潮 を世界遺産にする 淡路島民の会 (以下島民の会)
7/16～ 7/31	広報ショーウィンドー「ひょうご情報ステーション」	-	神戸市営地下鉄 県庁前駅構内	事務局
7/19	おいでや!!いなか暮らしフェア 2025	100名	大阪 OMM ビル	南あわじ市
8/28	夏休みインフラツアー	40名	南あわじ市各所	南あわじ市
9/20, 21	ふるさと回帰フェア	100名	東京フォーラム	南あわじ市
10/11～ 11/30	企画展「ひょうご五国の日本遺産-そのストーリーと魅力-」	入場者 17,859人	兵庫県立兵庫津ミ ュージアム	事務局
10/18, 19	第46回兵庫県民農林漁業祭 併催：第3回ひょうご豊かな 海づくり推進大会	入場者 21,000名	県立明石公園	島民の会
10/31～ 11/2	あわヂカラフェスティバル	200名	国営明石海峡公園	事務局
11/22	JOIN 移住・交流&地域おこし フェア 2025	100名	東京ビッグサイト	南あわじ市
11/22, 23	アイランダー2025	200名	池袋サンシャイン シティ	南あわじ市
12/20	ひょうごユース eco フォーラ ム	141名	兵庫県立工業技術 センター	島民の会



【ひょうご情報ステーション】



【絵画コンクール】



【アイランダー2025】

② 広報誌掲載・パンフレット作成等

- ・ 県民だよりひょうご 10月号掲載
- ・ 日英パンフレットの改訂・増刷
- ・ 子ども向けパンフレットの増刷
- ・ ポスターの増刷
- ・ わお！マップへの広告掲載（淡路ハイウェイオアシス、宝塚北 SA、海老名 SA、岡崎 SA、津田の松原 SA 等で配布）
- ・ 啓発グッズの作成（テーブル用敷布、クリアファイル、ボールペン）
- ・ スカイマーク機内誌＜淡路島・渦潮特集＞への取材協力（令和8年4月号掲載予定）



【県民だよりひょうご 10月号抜粋】

③ チラシ等配布

- ・ NEXCO 西日本管内の SA（9箇所）
- ・ 淡路人形浄瑠璃西宮・渋谷公演
- ・ 京都「南座」淡路島キャンペーン
- ・ 淡路くらしのひろば展